

# 小中連携・小小連携・地域交流の推進

～児童生徒の将来の社会的自立をめざして～

【周南市 岐陽中学校区】

## 地域の概要

岐陽中学校区は、周南市の中央部に位置し、文化施設があり産業の盛んな地域です。

徳山、岐山、遠石の三つの小学校区からなり、それぞれの小学校区には公民館があり、地域と学校が連携して、学校づくり・地域づくりを推進する環境が整備されています。

人 口	22,571 人	
世 帯 数	10,952 世帯	
対象校及び 児童生徒数	岐陽中学校	654 人
	徳山小学校	644 人
	岐山小学校	462 人
	遠石小学校	408 人

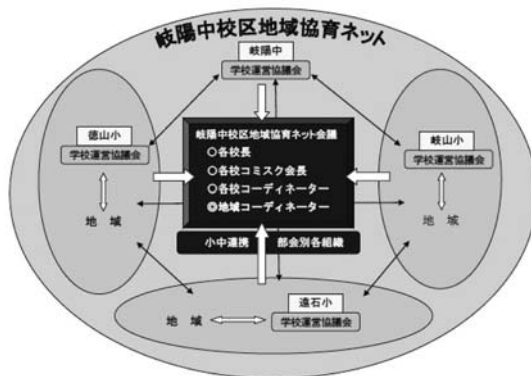
※徳山小学校は児童の約9割が、遠石小学校は約5割が岐陽中学校に入学

## 組織の内容

周南市では、平成24年度から全小・中学校にコミュニティ・スクール制度が導入されています。

そのような中、今年度、本校区すべての小・中学校にコーディネーターを配置し、学校支援の中心的な立場を担っていただいています。また、各校の教頭が学校運営協議会委員としてそれぞれの学校運営協議会に参画することで、コミュニティ・スクール間の相互連携の強化を図っています。

さらに、各校の連携、地域との連携を進めていくために、4校の校長、学校運営協議会会長、各校コーディネーター、そして、校区全体を取りまとめる地域コーディネーターで構成された「岐陽中学校区地域協育ネット会議」が設置されています。地域コーディネーターが各校のコーディネーターの連絡調整にあたり、これらのメンバーで、岐陽中学校区の情報交換や地域での具体的な取組を検討しています。



## 特色・重点的な取組

岐陽中学校区では、平成24～25年度の2年間、国立教育政策研究所の「魅力ある学校づくり調査研究事業」の指定を受け、小中連携・小小連携・地域交流等の充実を進めながら、児童生徒の豊かな人間性や自ら学び自ら考える力などの「生きる力」の育成をめざしてきました。平成25年度からは、小・中合同の6部会のプロジェクトチームを編成し、全教職員が部会に参加することで、9年間の児童生徒の成長を見通した各校の「ゆるやかな連携」「強固な接続」をめざしています。

平成26年度からは、小中連携・小小連携の成果をより確かなものにするために、これまでの取組を基盤として「岐陽中学校区地域協育ネット会議」を再編成しました。テーマを「豊かな心の育成」に設定し、地域コーディネーターを中心にした学校支援を進めています。今年度は、学校・家庭・地域それぞれが推進している「あいさつ運動」を協働して実施することで、地域の児童生徒を地域ぐるみで守り育てる気運を醸成することをめざしています。

## 主な活動の紹介

### 【岐陽中学校区一斉あいさつ運動】

一斉あいさつ運動は、「岐陽中校区地域協育ネット会議」での「熟議」を通して実施した最初の取組です。「地域のおじさん、おばさん運動」の日に合わせて4校が合同で一斉あいさつ運動を実施しました。この日にそろえることで、複数の中学校と連携している小学校がスムーズにあいさつ運動が実施できたことが一つの大きな成果といえます。

各小学校の正門には、中学校の生徒会執行部とボランティアの生徒が立って、あいさつ運動を行いました。また、保護者、地域の方にも通学路に立っていただきました。

### 【徳山小学校1／2成人式】

徳山小学校の1／2成人式では、保護者だけでなく、総合的な学習の時間等でお世話になった地域の方や幼稚園・保育所の先生や保育士も招待しました。児童とかかわりのあるたくさんの方に囲まれた中で、新たな決意をもつ良い機会となっています。

### 【小・中合同研修会】

小・中合同で、模擬授業を行って、小・中の滑らかな接続についての研修を行いました。中1ギャップ克服のヒントが得られた研修会でした。



岐陽中校区一斉あいさつ運動

岐山小正門で中学生があいさつ運動を実施しました。



1／2成人式

徳山小学校では、地域に学校行事を積極的に公開しています。

## 成果と課題

各校では、「あいさつ」「無言清掃」「はきものをそろえる」を4校の共通した生活作法として、礼儀・あいさつの指導を9年間継続して取り組んでいます。その作法が児童生徒の習慣として確実に身に付き、地域への誇りと愛着につながっていくと考えています。

それに加え、今年度再編した「岐陽中校区地域協育ネット会議」によって、各校のコミュニティ・スクール相互の連携が強化されたことは大きな成果です。地域コーディネーターが配置されたことで、各校、地域連携の仕組みができました。また、「一斉あいさつ運動」を実施したことで、地域ぐるみで取り組むことが明らかになり、今後、各校での地域連携の気運が高まることが期待できます。

今後の課題としては、具体的な取組に向けて「熟議」を重ねていくこと、複数の中学校へ進学する小学校のために、中中連携を進めていくことが挙げられます。

## 今後の取組

岐陽中学校区は、「小中連携、小小連携」が先行して推進された校区であり、これからは、「地域連携」を推進していくこととなります。「岐陽中校区地域協育ネット会議」で決定した岐陽中学校区共通テーマ「豊かな心の育成」をどのように具体的な活動として展開していくかが大切となります。今年度、推進してきた「一斉あいさつ運動」でつくり上げてきている「地域ぐるみで子どもを育てる」気運を、今後は地域コーディネーターを中心として、学校支援の仕組みの基盤づくりにつなげていき、さらには地域貢献へと広げていきたいと考えています。